

1
2
3

4 Prioris LX Server シリーズ

5 Windows NT Server インストールガイド

6 ServerWORKS Quick Launch Version 1.4

用

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39 μ \S **日本デジタルイクイップメント株式会社**

Version 1.0

はじめに

本書は、「ServerWORKS Quick Launch Version **1.4**」**CD-ROM**が付属している Prioris LX Server シリーズに Windows NT Server 3.51 をインストールする際の、注意事項について説明したものです。「ServerWORKS Quick Launch Version 1.4」CD-ROMが付属している Prioris LX Server シリーズに **Windows NT Server 3.51** をインストールする場合にお読みください。**Windows NT Server 3.51** に付属のマニュアル、ご使用の **Prioris LX Server** に付属のマニュアルおよび装着するオプション装置に付属のマニュアルもあわせてごらんください。

また、本書は ServerWORKS Quick Launch Version 1.4 をもとに記載されています。別のバージョンのソフトウェアでは内容が異なることがあります。

Quick Launch CD-ROM および Quick Launch で作成したディスクは必ず添付されていた PRIORIS Server でご使用ください。これらは、システムの設定を変更するソフトウェアを含んでいます。このソフトウェアとシステム BIOS などのバージョンが合わないとシステムが安定して動作しない場合があります。また、システム BIOS をアップグレードすると、通常システムコンフィギュレーションユーティリティ (SCU) も新しいものを使用する必要があります。この場合には、Quick Launch CD-ROM の SCU ではなく新しいシステム BIOS 用の SCU を使用してください。これらのソフトウェアの保管の際には、添付されていた PRIORIS Server の確認ができるように、PRIORIS Server のシリアルナンバを記入したラベルを貼るなどして管理することをおすすめします。

目次

μインストールをはじめる前に 2

オプション装置の装着 2

Quick Launch によるセットアップ 5

ユーティリティおよびドライバディスクの作成 8

Windows NT Server 3.51 のインストール 9

インストール後の作業 11

その他 12

ご注意

- 1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 4) 運用した結果の影響につきましては、3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

digital, Digital PC は、米国 **Digital Equipment Corporation** の商標です。

Pentium は、米国 Intel 社の商標です。

Phoenix BIOS は、米国 Phoenix Technologies 社の商標です。

Microsoft, MS, MS-DOS, Windows, Windows NT は、米国 Microsoft 社の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

1. インストールをはじめる前に

本書では設定例として、次の 2 つの構成の場合に Windows NT Server 3.51 の CD-ROM 版をインストールする方法について説明します。

内蔵の SCSI コントローラ(AIC7850)にハードディスクおよび DAT を接続する場合。

PCI RAID コントローラを追加してハードディスクを接続する。また、内蔵の SCSI コントローラ(AIC7850)に DAT を接続する場合。

2. オプション装置の装着

各オプション装着を、次の点に注意して設定、装着してください。

メモリを増設する場合

メモリを増設する時には、以下の点に注意してください。

メモリを増設する場合には、各 SIMM ソケットに決められた構成で SIMM メモリを増設する必要があります。メモリの構成については、「Digital Prioris LX Server ユーザーズガイド」を参照してください。

ハードディスクの設定

ハードディスクを設定する時には、以下の点に注意してください。

1. 装着するハードディスクが 1 台の場合には、SCSI ID を 0 に設定してください。複数のハードディスクを装',,,,\$f\$ffff,SCSI ID,0,,,"\$,,",,,,,SCSI ID 7,SCSIfffff\$,Ž—,,,,,Ž—,,,,,CD-ROMffff,SCSI ID 6,Ž—,,,,,
2. f\$ffff,SCSIfffff\$,,-CE,,,,,,,\$",,,,,
3. ffff,%o“,Ž,,(Spin Up),“CE,““,Ž,%o“,Ž,,(Power On Spin Up),,,,,,\$",,,,,
4. 'Power On Spin Up,Ž—,,,,、多,,ハードディスクを内蔵している場合、次のようなメッセージが表示されてディスクが使用できないことがあります。
Device Connected But Not Ready
多くのオプション製品を取り付けている場合、電源投入時に多量の電源を消費するため電源容量が不足してディスクが正常に回転しないことがあります。この場合、次のように設定してください。
ハードディスクのジャンプスイッチの設定を変更して、ディスクの回転 (Spin Up) の設定を Power On Spin Up ではなく、SCSI コマンドで行うようにする。
SCSI コントローラの設定を変更して、接続しているハードディスクにディスクの回転コマンド (Spin Up Command)を送るように設定する。

DAT の設定

DAT を設定する時には、以下の点に注意してください。

SCSI ID を他の SCSI 装置と衝突しないように設定してください。通常は、SCSI ID 5 に設定します。

DAT の SCSI バスターミネータの設定が無効になっていることを確認してください。

DAT でデータの圧縮をするかどうかの設定 (DC:Data Compression) を、必要に応じて有効 (Enabled) または無効 (Disabled) に設定してください。DDS2 で圧縮機能を使用する場合には、Enabled に設定します。

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(内蔵 SCSI コントローラに接続する場合)
次の図のように各 SCSI ケーブルを接続してください。

μ §

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(内蔵 SCSI コントローラに接続する場合)

記号
構成部品

A

Narrow SCSI ケーブル(本体に標準添付)

B

Narrow SCSI コネクタ

C

CD-ROM ドライブ (SCSI バスのターミネータは CD-ROM ドライブに取り付けてあります。CD-ROM ドライブは必ず SCSI ケーブルのいちばん端のコネクタに取り付けてください)

D

DAT ドライブ

E

Narrow SCSI ハードディスクドライブ

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)

- 次の図のように各 SCSI ケーブルを接続してください。別途「内蔵用 Wide SCSI ケーブルキット (FR-PCXAR-WA)」が必要になります。また、Narrow SCSI のディスクを接続する場合、4 台目以上のディスクには「Wide/Narrow 変換アダプタ (FR-PCXAR-WB)」が必要になります。

•

- μ S

•

- SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)

•

- 記号
構成部品

•

- A
Narrow SCSI ケーブル(本体に標準添付)

•

- B
Narrow SCSI コネクタ

•

- C

1. CD-ROM ドライブ (CD-ROM ドライブは内蔵 SCSI コントローラに接続してください。また、SCSI バスのターミネータは CD-ROM ドライブに取り付けてあります。CD-ROM ドライブは必ず SCSI ケーブルのいちばん端のコネクタに取り付けてください)

D

- DAT ドライブ (DAT ドライブは内蔵 SCSI コントローラに接続してください)

F

- PCI Wide SCSI RAID コントローラ (ここでは、PCI Slot 1 に装着して、Wide SCSI ケーブルキットで各ハードディスクに接続します)

•

- G
内蔵用 Wide SCSI ケーブルキット (FR-PCXAR-WA) : 別売

•

- H
Wide SCSI コネクタ

•

- I
Wide SCSI ターミネータ (Wide SCSI ケーブルキットに付属)

•

- J
1. Wide SCSI ハードディスクドライブ (Narrow SCSI ハードディスクを装着する場合には、Wide/Narrow 変換コネクタで Wide SCSI ケーブルに接続します)

3.Quick Launch によるセットアップ

- オプション装置の装着が終わったら、Quick Launch CD-ROM から起動してセットアップを行います。次の手順で設定してください。
- コンピュータの電源を入れてシステムを起動します。
- CD-ROMドライブに Quick Launch CD-ROM を挿入すると CD-ROM から起動します。この時次のメッセージが表示された場合には、[F1]キーを押して続行してください。
- Press <F1> to resume,<F2> to Setup
- 使用言語の選択画面が表示されたら「6 Japanese」を選択してください。
- SCU が起動したら、「Main Menu(メインメニュー)」から「Configure Computer(システム環境設定)」を選択してください。メニューが表示されたら、「Step 3: View or Edit Details(設定値の表示と編集)」を選択してください。
- 各項目を次のように設定してください。
- System - Digital Prioris LX System Board
- System Processor Type ... Pentium(TM)
- System Processor Clock ... 120 MHz
- System Base Memory ... 640 KB
- System Extended Memory ... 31744 KB, AT Bus Space Disabled
- System BIOS ... PhoenixBIOS(TM) Version *.*

Diskette Drive Group

- **Onboard Diskette Controller ... Enabled**

Diskette Drive A: ... 3.5 inch 1.44 MB drive

Diskette Drive B: ... Not installed

Exchange Diskette Drives ... Disabled

- ◆ Diskette Write Protection ... Disabled



- ◆ Hard Disk Group

- ◆ Local Bus IDE Adapter ... Disabled

- ◆ Large Drive Access Mode ... DOS



- ◆ IDE - Primary Master Group

- ◆ IDE - Primary Master Group ... Not Install

- ◆ Multi-Sector Transters ... Disabled

- ◆ **LBA Mode Control ... Disabled**

32 Bit I/O ... Disabled

- Transfer Mode ... Standard



- IDE - Primary Slave Group

- IDE - Primary Slave Group ... Not Install

- Multi-Sector Transters ... Disabled

- LBA Mode Control ... Disabled

- 32 Bit I/O ... Disabled

- Transfer Mode ... Standard



- IDE - Secondary Master Group

- IDE - Secondary Master Group ... Not Install

- **Multi-Sector Transters ... Disabled**

39.1 LBA Mode Control ... Disabled

32 Bit I/O ... Disabled

Transfer Mode ... Standard

IDE - Secondary Slave Group
**IDE - Secondary Slave Group ... Not Install
Multi-Sector Transfers**

...
Disa
bled
LB
A
Mode
Contr
ol
...
Disa
bled
32
Bit
I/O
...
Disab
led
Tra
nsfer
Mode
...
Stan
dard

Boo
t
Optio
ns
Grou
p
Bo
ot
sequ
ence
... A:
then
C:

Seri
al
Port
Grou
p
Ser
ial
Port
1
...
Enab
led
at:
3F8h
-
3FFh(
IRQ4
)
Ser
ial
Port
2

39.2abled at: 2F8h-2FFh(IRQ3)

39.3

39.4 Parallel Port Group

Parallel Port ... Bi-Directional Mode :378h-37Ah,IRQ7

Video Options Group

Video Type ... VGA or EGA

Shadow Options Group

Shadow Video BIOS ROM ... Enabled

Shadow C8000h-CBFFFh ... Disabled

Shadow CC000h-CFFFFh ... Disabled

Shadow D0000h-D3FFFh ... Disabled

Shadow D4000h-D7FFFh ... **Disabled**

Shadow D8000h-DBFFFh ... Disabled

Sha
dow
DC00
0h-
DFFF
Fh
...
Disa
bled

Sec
urity
Optio
ns
Grou
p
Su
pervi
sor
Pass
word
...
Not
Instal
led
Pas
swor
d on
boot
...
Disa
bled
Dis
kette
acce
ss
...
User
Fix
ed
disk
boot
secto
r
...
Norm
al
Net
work
Serv
er
...
Disa
bled
Sys
tem
back
up
remi
nder
...
...

Disa
bled
Vir
us
chec
k
remi
nder
...
Disa
bled

Ca
che
Optio
ns
Grou
p
Int
ernal
Cach
e

...
Enab
led
Ex
terna
l
Cach
e

...
Enab
led
Ca
che
Syst
em
BIOS
ROM

...
Enab
led
Ca
che
Vide
o
ROM

...
Enab
led

Po
wer
Mana
gem
ent
Optio
ns
Grou
p
Po

wer
Savi
ngs
...
Disa
bled
 Mo
nitor
Susp
end
Time
r
...
Disa
bled
 Mo
nitor
Off
Time
r
...
Disa
bled

 Res
erve
d
Syst
em
Reso
urces
...
Confi
gurat
ion
file
and
overl
ay

Versi
on
V*.*
 Mo
use
Port
...
Enab
led
 Har
dwar

40 e Monitor ... Disabled

PCI Arbiter Priority ... System Default

Integrated SCSI Device Group

Enable Device ... Enabled

PCI Interrupt ... One IRQ required :IRQ11([F6]キーで表示,変更可能)

● Use Default Latency Timer Value ... No

● Latency Timer Value ... 40h

●

● Integrated Network Device Group

● Enable Device ... Enabled

● **PCI Interrupt ... One IRQ required :IRQ5 ([F6]キーで表示,変更可能)**

● Use Default Latency Timer Value ... No

Latency Timer Value ... 40h

●

- PCI Slot 1 Options Group *
- Enable Device ... Enabled
- PCI Interrupt ... One IRQ required :IRQ10([F6]キーで表示,変更可能)
- Use Default Latency Timer Value ... No
- Latency Timer Value ... 40h

PCI Slot 2 Options Group

- Enable Device ... Disabled
- PCI Interrupt ... None
- Use Default Latency Timer Value ... No
- Latency Timer Value ... 40h

PCI Slot 3 Options Group

- Enable Device ... Disabled
- PCI Interrupt ... None
- Use Default Latency Timer Value ... No
- Latency Timer Value ... 40h

CL-GD5428 VGA graphics Controller

- CL-GD5428 VGA Accelerator ... Graphics: Color and Mono

* PCI RAID コントローラを装着している Slot を設定します

設定が終わったら [Esc] キーを押した後「Step 5: Save and Exit(保存と終了)」を選択します。ここで、自動的にリセットされて CD-ROM から起動します。

RADI コントローラを装着していない場合には、DOS パーティションを作成する画面が表示されます。ここでは 90MB に設定します。パーティションが作成された後、自動的に再起動されます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

RAID コントローラを装着している場合には、RAID コンフィギュレーションユーティリティが起動されます。ここで RAID コントローラの設定および論理ディスクの作成を行います。RAID の設定については RAID コントローラに付属のマニュアルをごらんください。RAID の設定が終わったら、RAID コンフィギュレーションユーティリティを終了します。

DOS パーティションを作成する画面が表示されますが、ここでは何も入力せずに [Ctrl][Alt][Del] キーを押してシステムをリセットしてください。CD-ROM から再起動すると、DOS パーティションを作成する画面が表示されます。ここで、パーティションサイズを 90MB に設定してください。パーティションが作成された後、自動的にリセットされます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

Quick Launch Version1.4 のメインメニューでは次のことが実行できます。

メニュー
機能

[Quick Launch の使い方]
Quick Launch の使用方法の説明(英語)

[ソフトウェアのインストール]
ソフトウェアのインストール支援

[高速(Express)]
Windows NT Server 3.51 または NetWare 4.1 をメニューにしたがって必要な情報を入力するだけでインストールすることができます。NetWare 3.12 では使用できません。

[標準(Conventional)]
各 OS 用のドライバおよびユーティリティディスクの作成

[複製(Replicate)]
高速インストールで作成される REPLICAT.INI ファイルを使用して、同一構成のサーバをインストールすることができます。NetWare 3.12 では使用できません。

[オンライン
ドキュメンテーション]
Readme(日本語)および PRIORIS Server シリーズの各種マニュアル(英語)の表示

[サービス情報]
サービス情報の表示

[?(ヘルプ)]
ヘルプの表示

また、ハードディスクの DOS パーティションには次のユーティリティがインストールされています。これらのユーティリティはハードディスクから DOS を起動した後、実行することができます。

ユーティリティ
ディレクトリ
実行ファイル

診断プログラム
C:\DIAG\
DIAGNOSE.BAT

RAID コンフィギュレーションユーティリティ
C:\RCU\
RAID.BAT

SCU(System Configuration Utility)
C:\SCU\
SCU.BAT

EZ-SCSI のセットアップファイル
C:\EZSCSI\
DOSINST.BAT

Quick Launch を終了した後の DOS 画面および、ハードディスクから DOS を起動した場合には、101 キーボードの設定になっています。この時、標準装備の 106 キーボードでは押したキーと入力される文字が一部異なります。次の表にしたがってキー入力してください。

入力したい文字	押すキー
入力したい文字	押すキー

≠または、	
[]	
] []	

=	
[Shift][;]	
≈	
[Shift][@]	
*	
[Shift][8]	
≈	
[Shift][[]	

=	
[^]	
“	
[Shift][:]	

+	
[Shift][^]	
≈	
[Shift][7]	

¯[Shift][-]	
[:]	

⌋	
[Shift][9]	
[Shift][6]	

⌋	
[Shift][0]	
@	
[Shift][2]	

[
[@]	

4. ユーティリティおよびドライバディスクの作成

Quick Launch を使用して、各種ユーティリティおよび Windows NT Server 3.51 用のドライバディスクを作成することができます。Quick Launch Version 1.4 を使用している場合、Windows NT Server 3.51 をインストールするためにドライバディスクを作成する必要はありません。RAID コントローラのドライバは RAID コントローラに付属のドライバを使用し、その他のドライバはすべて Windows NT Server 3.51 に付属のものを使用します。ここでは、ユーティリティディスクのみを作成します。ここで作成するユーティリティはハードディスクの DOS パーティションにもインストールされており、DOS を起動した後にハードディスクから実行することができます。しかし、システムが起動しなくなった場合に備えて、緊急用にディスクを作成しておくことをおすすめします。次の手順でディスクを作成してください。

Quick Launch のメインメニューから [ソフトウェアのインストール] アイコン、[標準 (Conventional)] タブ、[Windows] アイコンを順に選択します。[Windows NT Server 3.51] を選択して [続行] ボタンを押します。

次のようなユーティリティおよびドライバの一覧が表示されます。ディスクを作成するのは、Prioris 1/4 1/2 AN °YI °P U °1/4 @ Y O ° A ° Ø Ä ° (SCU) および 診断 ISÜ, P × N (Diagnostics) だけです。

3COM EISA Ethernet, 3c579x
3COM ISA Ethernet, 3c509B
Adaptec 2940, 2940W, 3940W, and On-board PCI SCSI Controller
Cirrus On-Board Video Adapter
CMD On-board IDE Controller
Diamond Stealth64 PCI Video Adapter (S3 964), Windows NT
Diamond Stealth64 PCI Video Adapter (S3 864), Windows NT
Digital EISA FDDI DEFEA
Digital PCI Ethernet, DE435
Digital PCI Ethernet, DE500
Logitech Mouseware
Matrox Millennium Video Adapter, Windows NT
Mylex Configuration and Utilities
Mylex EISA and PCI RAID Controller
Prioris 1/4 1/2 AN °YI °P U °1/4 @ Y O ° A ° Ø Ä ° (SCU)
Proteon EISA Token Ring 1990+, 1 of 2
Proteon EISA Token Ring 1990+, 2 of 2
Racal PCI Ethernet T2
ZNYX PCI Ethernet, ZX312
診断 ISÜ, P × N (Diagnostics)

Prioris 1/4 1/2 AN °YI °P U °1/4 @ Y O ° A ° Ø Ä ° (SCU) を選択した後、フォーマットした 2HD のディスクを挿入して [続行] ボタンを選択すると、次のような画面になります。ここでは作成するディスクのラベルが表示されますので、これをディスクのラベルに記入してください。[Enter] キーを押すとディスクが作成されます。

Digital Equipment Corporation

Prioris ** Server
System Configuration Utility
- English - Release *.*

All Rights Reserved
(c) 1992 Micro Computer Systems
(c) 1994 Microsoft Corp.
(c) 1995 Digital Equipment Corp.

Insert a blank high-density diskette in drive A:.
Press ENTER to extract, or ESC to exit -

同様に 診断 ISÜ, P × N (Diagnostics) のディスクも作成してください。

5. Windows NT Server 3.51 のインストール

Windows NT Server 3.51 をインストールする場合には Quick Launch の高速 (Express) インストールを使用することができます。次の手順でインストールしてください。

Quick Launch のメインメニューから [ソフトウェアのインストール] アイコン、[高速 (Express)] タブ、[Windows] アイコンを順に選択します。[Windows NT Server 3.51] を選択して、[続行] ボタンを押します。

次の画面が表示されたらインストールしようとする Windows NT Server の構成に合わせて各項目を選択または値を入力してください。

×²³/₄Y¹/₂O°ÄÞ の項目で[同時使用 Ö°»Þ 数]を選択した場合は、クライアントライセンス数を入力するポップアップメニューが表示されます。ここで、購入したクライアントライセンスの数を入力してください。

Windows NT Server 3.51 は、[接続クライアント数]または、[同時使用ユーザ数]の 2 つのライセンスモードを持っています。どちらのライセンスモードを選択すべきかは、使用する環境によって異なります。ライセンスモードについての詳細は、Windows NT Server 3.51 のマニュアルを参照してください。

NT インストール

氏名
組織名
»°EB 名

[PC 事業本部]
[日本 DEC]
[PRIORIS]

ìSÛÄÞ, ÄID
NT ServerÄ²ìB
×²³/₄Y¹/₂O°ÄÞ

[*****]
[ìB×²[ÖÄÞÖ²Y°YÄÛ°× ↓]
[同時使用 Ö°»Þ 数 ↓]

Ä²Ñ¿Þ°Ý

[(GMT+09:00) 東京, 大阪, 札幌, Seoul, Yakutsk ↓]

È~ÄÛ°.

Û°, ÞÛ°ìB 名
 NWLink を ²Y¹/₂Ä°Û

ÄÞÖ²Ý 名
 NetBEUI を ²Y¹/₂Ä°Û

ÄÞÖ²Ý 名
 TCP/IP を ²Y¹/₂Ä°Û

[DOMAIN]

[戻る(P)] [続行(D)]

各項目に入力したら[続行]を選択してください。

次の画面が表示されたら Quick Launch CD-ROM を取り出して Windows NT Server 3.51 の CD-ROM を挿入してください。CD-ROM を挿入したら[1]キーを押してください。自動的に Windows NT Server 3.51 がインストールされます。

Microsoft Windows NT ServerìBÛ°Ä~Ý, Þ¼½ÄÑ CD を
CD-ROM ÄÞ×²ìB に挿入して下さい。

1 で継続
[CTRL]+[C] で Quick Launch を終了

Prioris ServerWORKS(tm) Quick Launch V*,*

インストール中に次の画面が表示されたら、[Enter]キーを押して Windows NT Server をインストールするパーティションを作成しフォーマットしてください。インストールが続行されます。

Windows NT Server セットアップ

=====

選択したパーティションまたは未使用の領域は、Windows NTを組み込むには小さすぎます。少なくとも 97MB (1MB = 1,048,576 バイト) のパーティションまたは未使用の領域を選択してください。

Enter=続行

次のウィンドウが表示されたら、[AutoDetect]を選択して[続行]をクリックしてください。

DEC DECchip 21040 ベースのアダプタセットアップ

接続の種類(C):
[続行]

AutoDetect
[キャンセル]

ネットワークアダプタに正しいケーブルの種類を選んでください。利用可能なオプションの詳細な説明の一覧を参照するには、[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。
[ヘルプ(H)]

この後、数回再起動しながら Windows NT Server がインストールされます。インストールが終了すると、ログイン画面が表示されます。Administrator アカウントでログインしてください。

6. インストール後の作業

インストールが終了した後に次の作業を行ってください。

ディスプレイの設定
インストールが終了した後最初にログインするとディスプレイの設定画面が表示されます。画面の解像度などの設定を行ってください。

IP アドレスの設定
TCP/IP をインストールした場合、DHCP で IP アドレスを取得する構成になっています。IP アドレスを指定する場合には、コントロールパネルからネットワークを選択して設定してください。

RAID コントローラのドライバの変更
RAID コントローラを装着している場合には、RAID コントローラのドライバを入れ替えます。次の手順で行ってください。

プログラムマネージャのメイングループから [Windows NT セットアップ] を起動します。

[設定] メニューから [SCSI アダプタの追加と削除] を選択します。

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex] を選択した後、[削除] を選択します。

[追加] を選択するとインストールするアダプタの選択画面になります。[その他(ハードウェアメーカーのディスクが必要です。)] を選択します。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入してパスを指定します。

A:\NT_35

[Mylex DAC960 Disk Array Adapter] が表示されたら、[OK] を選択します。

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex] を選択して [組み込み] を選択します。

次に [新しいドライバ] を選択すると、ドライバのパスを入力する画面が表示されます。ここで、次のパスを指定して [OK] を選択します。

A:\NT_35

[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex] が追加されたことを確認して、[閉じる] を選択します。

以上でドライバのインストールは終了です。Windows NT Server を再起動してください。

RAID ユーティリティのインストール

RAID コントローラを装着している場合には RAID コントローラのユーティリティをインストールします。次の手順で行ってください。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入して次のコマンドを入力してください。

```
A:\>copy a:\nt_35\dacadm.exe d:\winnt35\system32
```

```
A:\>copy a:\nt_35\dacmon.exe d:\winnt35\system32
```

コピーした実行ファイルを[管理ツール]グループにアイコン登録してください。

dacmon.exe は[スタートアップ]グループにもアイコン登録してください。

テープドライバのインストール

テープドライブとして DAT SDT-5000(FR-PCXAT-AF)を装着している場合には、テープドライバをインストールする必要があります。テープドライバのインストールは次の手順で行ってください。

メイングループから[Windows NT セットアップ]アイコンをダブルクリックして起動します。

[設定]メニューからテープデバイスの追加と削除を選択します。

[追加]ボタンをクリックした後、[4 mm SONY ドライブ]を選択して[組み込み]ボタンをクリックします。

Windows NT Server 3.51 の CD-ROM の i386 ディレクトリのパスを指定します。

Windows NT セットアップを終了します。

Windows NT Server を再起動するとドライバがロードされて、テープドライブが使用できるようになります。

SCSI コントローラの設定

複数の Adaptec SCSI コントローラを使用する場合または、RAID コントローラを同時に装着する場合、ハードディスクが装着されていない SCSI コントローラがあると電源投入後に次のメッセージが表示されることがあります。

Press <F1> to resume, <F2> to Setup

[F1]キーを押せばこのまま使用することができますが、ハードディスクが接続されていない SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定すればこのメッセージは表示されなくなります。SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定するには、SCSISelect ユーティリティを使用します。

SCSISelect はシステム起動時に、SCSI BIOS が表示されている時に[Ctrl][A]を押すと起動します。

また、CD-ROM から起動する場合には、その時だけ SCSI BIOS を Enabled(有効)に設定してください。

動作確認

インストール後、上記のすべての作業が終わったら再起動して、Windows NT Server 3.51 が正常に動作していることを確認してください。

7.その他

内蔵のビデオコントローラを無効にするには

Prioris LX Server ユーザーズガイドでは内蔵のビデオコントローラを無効に設定するには VGA ジャンパ(J9)を無効にすることが記載されていますが、実際にはこのジャンパはありません。Prioris LX Server 内蔵ビデオコントローラを無効にするには、システムコンフィギュレーションユーティリティ(SCU)で[CL-GD542X VGA Accelerator]の項目を Not Installed に設定してください。